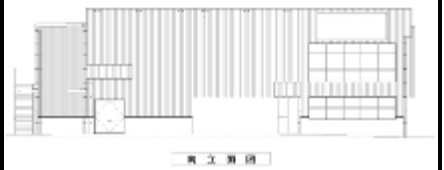


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドラッグコスモス太秦桜が丘	階数	地上2F
建設地	大阪府寝屋川市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2018年9月8日
敷地面積	3,343 m ²	作成者	吉田 赫激
建築面積	1,522 m ²	確認日	2018年9月10日
延床面積	2,985 m ²	確認者	吉田 赫激



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記+②以外の 78%
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・効率的な設備システムを導入し、地球温暖化へ配慮している		・特に無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・特に無し	・天井高を確保し、広さ感に配慮している ・耐用年数の長い給排水管を採用 ・壁長さ比率を確保、空間のゆとりにも配慮している	・特に無し
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている	・発泡剤を用いた断熱材を採用せず、フロン・ハロンの回避に努めている	・ガス設備を採用しない等、大気汚染防止に努めている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0085

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ドラッグコスモス太秦桜が丘店新築工事					
	建設地	寝屋川市太秦桜が丘908番1、910番1、911番5					
	用途/区分	物販店 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					1	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.0	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		